

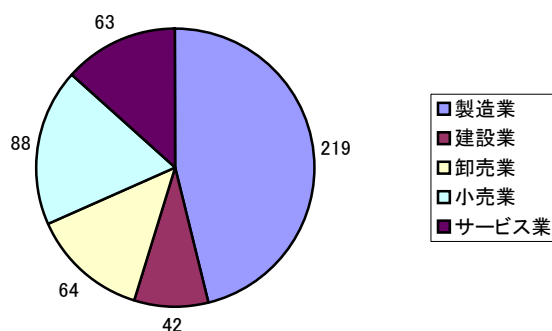
景気動向

景気は、悪化が続いている。
先行きは、改善するも低水準が続く。

- 調査時点 平成21年4月調査(21年3月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 476社(回答率:59.5%)
(製造業219社、建設業42社、卸売業64社、
小売業88社、サービス業63社)
- 調査時期 四半期毎(3, 6, 9, 12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	219
建設業	42
卸売業	64
小売業	88
サービス業	63



<全産業>

全産業の業況DI(▲70.6)は、前回(▲73.4)に比べて2.8ポイント縮小した。
業種別では製造業の業況DIは▲78.5(前回比▲79.4)となり、横ばいのまま推移している。
小売業、建設業の業況DIはわずかに改善を示しているが、サービス業の業況DIは横ばいのまま推移し、
卸売業の業況DIはわずかに悪化を示している。

各業種からは、受注量の減少や、購買単価の下落、資金繰りの難しさ等厳しい状況が続いている。
との声がある。

3か月先見通しは製造業が改善、非製造業がわずかに改善を見通しているが、依然として極めて
厳しい水準にとどまっている。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
3月末時点	-70.6	-69.7	-68.5	-49.6
12月末時点	-73.4	-67	-68.3	-44.7
前回比	2.8	-2.7	-0.2	-4.9

■全産業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	3.8	3.5
悪化	74.4	76.9
DI値	-70.6	-73.4
前回比	2.8	-16.6

■3月末時点からみた

全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	6.1
悪化	54.4
DI値	-48.3

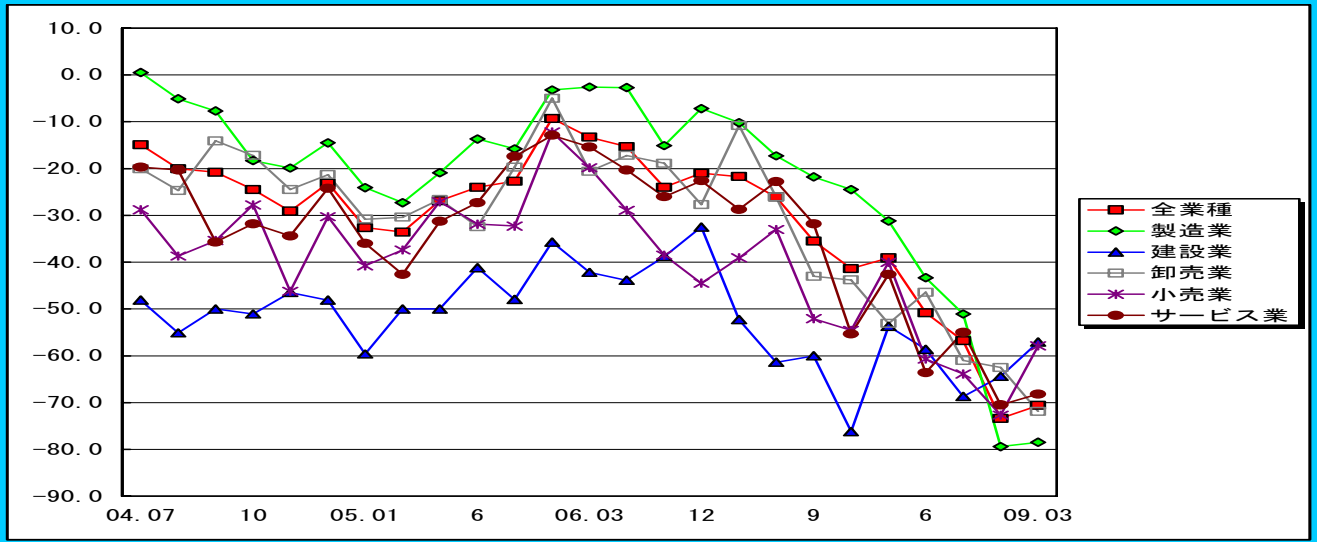
■製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	3.7	2.5
悪化	82.2	81.9
DI値	-78.5	-79.4
前回比	0.9	-28.3

■非製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	3.9	4.4
悪化	67.7	72.8
DI値	-63.8	-68.4
前回比	4.6	-6.6

■業種別業況DI値推移グラフ



< 製造業 >

業況DI値	
今回	-78.5
先行き	-38.8
前回比	0.9

業況・売上・採算は横ばいのまま推移しているが、資金繰りは悪化を示した。業種別にみると「印刷」の業況が改善を示し、「窯業・土石」「精密機器」「プラスチック」の業況はわずかに改善を示した。「酒造」「ニット」「縫製」「一般機械」「輸送用機器」の業況は、わずかに悪化を示した。

対象企業	354
回答企業	219

3か月先見通しの業況・売上・採算・資金繰りはすべて改善を示した。業種別にみると「鉄鋼・非鉄」「金属」「電気機器」「輸送用機器」「プラスチック」の業況は大幅改善、「織物」「ニット」「窯業・土石」「一般機械」「精密機器」も改善、「食料品」「酒造」もわずかに改善とする見通しをしている。「縫製」「木材・木製品」は横ばいで推移、「印刷」はわずかに悪化を見通している。先行きは不透明感が強いが、5月以降には若干生産量増加が期待できる、との声もあった。

自由意見

製造業

- 業界全体が地盤沈下を起こしており、信用不安も増大し、先が見えない。【織物】
- 1月～3月は最悪でした。【ニット】
- 需要の変化が大きく高級物の売れ行きも悪く、売上げも良くない。今後の見通しもつかず、苦しい先行きが予想される。【縫製】
- 先が見えません。【木材木製品】
- 金融機関の融資状況・対応が実情に対応していない。(金融機関により温度差が大きい。)金融保証・雇用助成などの政策案が出て、スピード感、末端での実務対策が出来ていない。【木材木製品】
- 人員削減を行いたいところであるが、出来ずに悩んでいる。【印刷】
- 企業の自助努力ではどうしようもない。【窯業土石】
- 競争の原理はあるが、採算を度外視してまでの過当競争は避けるべきである。【窯業土石】
- 受注残が昨年の1/2。【窯業土石】
- 親会社の動向に左右されるため、当面、当社としては具体的対策を取れない状況である。【鉄鋼非鉄】
- 政府には赤字国債を出してでも国内消費の拡大策を緊急に打って欲しい。【鉄鋼非鉄】
- 貴金属相場は回復傾向にある見通しだが、依然として受注先の減少傾向は、不透明な状況である。【金属】
- 社員と協力してあらゆる手段を使い、切り抜けるつもりです。【金属】
- 1月に安定化資金を借りたが、半年で底をつきそう。資金繰り(借入)より一時的な組み替え(元金の半額返済等)のお願いが出来ないものか…。仕入れはかなり絞っているが…。【金属】
- 業況収益共に悪化の状況が当面続くと思われる。【金属】
- 製造業を中心に景況急落している。【一般機械】
- 3ヶ月先の予想良化は見込ですが、不透明な部分もあります。【一般機械】
- 中小企業においては工場閉鎖、廃業、雇用調整助成金の支給申請等対応をしているが、借入金も限度を超えて後半不況が続けば、かなり厳しい状況に直面すると考えます。【電気機器】
- 輸出産業が安定する事を期待すると共に、国内消費が伸びてくる事で中小企業も少しは良化してくると思えます。【電気機器】
- 当社依存率70%以上のFA関連が激減の為、大変厳しい状況です。【電気機器】

○3月決算で、昨年対比で10%増。今期4月から単価は安くなるが仕事量は1.5倍になる模様である。	【電気機器】
○大型トラック販売悪化に伴い、注文大幅減。	【輸送用機器】
○6月には生産が上向くと予測している。	【輸送用機器】
○仕事量があまりにも少なく、競争にもならない。底が見えない。	【精密機器】
○未だに出口が見えない状況が続き、4月までが最悪と予測。5月以降に幾分か上昇傾向あり。	【プラスチック】

<建設業>

業況DI値	
今回	-57.1
先行き	-66.7
前回比	7.3

対象企業	72
回答企業	42

業況はわずかに改善傾向を示し、売上・採算は横ばい、資金繰りはわずかに悪化を示した。業種別にみると「土木」の業況は改善、「建築」の業況はわずかに悪化を示した。3か月先見通しの業況はわずかに悪化を見通しており、売上・採算・資金繰りは横ばいを見通している。業種別にみると「建築」の業況、売上はわずかに改善を見通しているが、「土木」は業況・売上・採算・資金繰りのいずれも悪化を見通している。

今までに経験したことがないような厳しい時期である、との声があった。

自由意見

建設業

○建設業を取り巻く環境は、建設業に携わって47年初めての大ピンチだと考えています。	【建築】
○建設業界は受注、低迷で競争が激化している。また工事代金の低下による収益も悪化している。下請への支払に転嫁するのも厳しく、厳しい環境は続きそうである。	【建築】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-71.9
先行き	-54.7
前回比	-9.4

対象企業	106
回答企業	64

業況・売上はわずかに悪化を示し、採算・資金繰りは横ばいを示した。業種別にみると「飲食料」は業況・売上・採算・資金繰りのすべてにおいて改善傾向を示したが、「衣服」「鮮魚」「機械器具」の業況・売上・採算とも悪化傾向を示した。

3か月先見通しの業況・売上・採算はわずかに改善を見通している。業種別にみると「青果物」「機械器具」の業況・売上・採算は改善、「飲食料」の業況・売上・採算はわずかに悪化を見通している。

自由意見

卸売業

○今後も受注の減少が予想されることから、粗利益の確保、総資産の圧縮等により収益力の向上を期したい。	【機械器具】
○ヒト、モノ、カネが一体となって動かない。特に物流は無いに等しい状況。適正価格での販売量確保と在庫量のバランスを注視するが、厳しい状況下で先の見通しがつかない。	【建築材料】
○日本では、なじみの薄い遮熱材が好調。断熱から遮熱時代に突入。	【建築材料】
○建設着工数が少ないので受注量も少ない。しかし、景気が良くなり雇用が安定すれば、家を建てる人も出てくるのではないか。	【建築材料】

<小売業>

業況DI値	
今回	-57.9
先行き	-52.3
前回比	14.8

対象企業	161
回答企業	88

業況はわずかに改善を示しているが、売上・採算・資金繰りは横ばいを示した。業種別にみると「飲食料」「大規模店」の業況は改善を示し、「中小スーパー」は悪化傾向を示した。

3か月先見通しは、業況・売上・採算はわずかに改善を見通し、資金繰りは横ばいを見通している。業種別にみると「家電品」「自動車販売」の業況・売上は改善を見通し、「家具・建具」の業況はわずかに悪化、「大規模店」は悪化を見通している。

最悪の環境であるが、積極的にチャンスを見つけたい、という前向きな意見もあった。

自由意見

小売業

- スキー場も4月5日までの運営ですが、今季のスキー場の入客は、昨年より5%少ない様です。【中小スーパー】
- 先が見えない状態が続いている。高額品に対する買い控えが強い。【衣料】
- 量販店のPBIにより価格の下落が多く通常の小売店は無理。経費のかからない小型化が必要な気がする。【飲食料】
- 小物の販売や修理はあるが、TV、エアコンなどの大物家電の販売は少なくなった。【家電品】
- 地元の工場の閉鎖や縮小などが進み、ますます販売業の環境は厳しくなると思う。負の連鎖が続くと思われる。【家具建具】
- 最悪の経済状況、恐慌の時を如何に生き残りをかけたらいのか、こんな時こそ積極的にチャンスを狙う意識持たいたいものと考えています。【家具建具】
- 無駄なものは購入しないという意識が以前にも増し、ハッキリとしている。【大規模店】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-68.2
先行き	-57.1
前回比	2.3
対象企業	107
回答企業	63

業況・売上・採算は横ばいを示し、採算はわずかに改善を示した。業種別にみると「観光旅館」の業況はわずかに改善を示したが、「情報サービス」は業況・売上・採算・資金繰りのすべてが悪化を示した。3か月先見通しの売上・採算・資金繰りはいずれも横ばいを見通し、業況はわずかに改善を見通している。業種別にみると「タクシー」が大幅改善、「運送」「情報サービス」の業況は改善を見通しているが、「観光旅館」はわずかに悪化を見通している。市場の変化に対応しきれない状況です、という声があった。

自由意見

サービス業

- 昨年12月以降、売上げが前年に比べて2桁程度落ち込んでおり、資金繰りを圧迫している。抜本的対策を図ることが急務となっている。【タクシー】
- 市場の変化に自社対応しきれない状況です。【タクシー】
- 緊急支援等で、借入はしやすくなった。受注減少でこの先の見通しがつかない。国には更に経済対策を打ち出して欲しい。【運送】
- ここに来て燃料代が一時より値下がり傾向にあり、少しは安堵していたが、世界同時不況で荷物の輸送量が幅に減少したのが響いている。【運送】
- 先が読めない。【自動車整備】